

様式1

東北大学大学院情報科学研究科

(1) シンポジウム開催支援経費 実績報告書 学際的研究プロジェクト支援経費	
タ イ ド ル	情報の計測と価値
(2) 主 催 者	森杉壽芳（人間社会情報科学専攻社会システム計画学分野・教授）
期 日	平成18年3月7日（火）
会 場	大学院情報科学研究科 4F412号室
出席者数（講師・パネリスト等を除く）	10名
講師・パネリスト等の氏名・勤務先等	森杉壽芳（人間社会情報科学専攻社会システム計画学分野・教授） 岩崎祥一（応用情報科学専攻認知情報学分野・教授） 安藤朝夫（人間社会情報科学専攻計量システム分析分野・教授） 白鳥則郎（電気通信研究所コミュニケーション論分野・教授） 福山敬（人間社会情報科学専攻都市社会経済システム分析分野・助教授） 篠澤和久（人間社会情報科学専攻論理分析学分野・助教授）
(3) 目 的	情報の計測とその価値は、心理学、経済学、政治学、数理統計学などにおいて様々に定義され、その適用が行われている。本プロジェクトは、このような分野における現状を認識し、相互に異なる分野への貢献の可能性を探ることを目的とする。
(4) 内 容	本研究会では、過去3年にわたり、情報の価値が議論されていると思われる分野の専門家によるその分野における情報の価値についての発表ならびにこれに基づいて全体討論をして情報の価値に概念の共通化を試みた。本年度は、専門域としては、「群集行動における情報の価値」という題目の発表を行った。そして、討論の結果、今後、群集行動における情報の価値を中心として学際研究を追求することができる可能性があることを確認した。
(5) 情報科学研究科にとっての意義・貢献度	情報という言葉に近い言葉である確実性や知識を含み、ゲーム理論の分野で情報という言葉をどのように定義し、どのように計測し、どのように価値付けしているかを整理することができた。この結果をGSISに特集投稿を行うこととした。

注 (1) 「シンポジウム開催支援経費」「学際的研究プロジェクト支援経費」より、該当する項目を記載してください。

(2) 当学術企画実施の代表者もしくは責任者及び協力者名を全員記載してください。

(3) 当学術企画を実施した目的を簡潔に記載してください。

(4) 実施された当学術企画の内容を簡潔に記載してください。

(5) 大学院情報科学研究科に対する当学術企画の意義や貢献度を簡潔に記載してください。